

カンロ、全生産工場にて購入電力を再エネ化

長野県 2 工場に加え

2024 年 5 月より山口県ひかり工場も再生可能エネルギー由来の電気に切り替え

カンロ飴やピュレグミなどでおなじみのカンロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 村田 哲也、以下カンロ）は、2024 年 5 月より新たにひかり工場（山口県光市）の購入電力を再生エネルギーに切り替えることにより、全生産工場での購入電力再エネ化 100%を達成します。



カンロ ひかり工場(山口県)

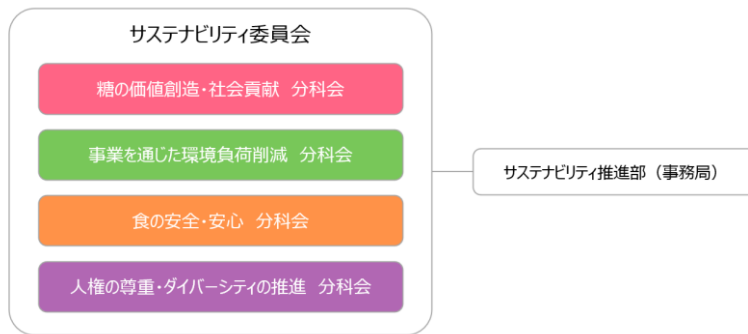


カンロ 松本工場(長野県)



カンロ 朝日工場(長野県)

カンロは、企業パーパス「Sweeten the Future」心がひとつ、大きくなる。の下、事業を通じて社会課題の解決に寄与しながら、企業価値を向上させることで、人と社会の持続的な未来に貢献することを目的に、カンロサステナビリティ推進体制を構築しております。4 つの分科会を束ねるサステナビリティ委員会に加え、2024 年からは施策の実行部隊であるサステナビリティ推進部も新設し、活動基盤を強化しました。



「事業を通じた環境負荷削減領域」では、気候変動に対応するため 温室効果ガス排出量削減を目指しています。また、資源循環型社会実現に貢献すべく、食品廃棄物や使用するエネルギーの削減にも取り組んでいます。

2030 年までに、Scope1,2 の総排出量を 2019 年比 50%削減、Scope3 の総排出量を 2019 年比 30%削減する KPI を設定しており、グリーンエネルギー活用を推進しています。2022 年 9 月には長野県の松本工場、朝日工場の 2 工場で使用電力 100%CO₂フリー電気※に切り替えました。今回、山口県のひかり工場の使用電力も 100% CO₂フリー電気に切り替えることにより、全 3 工場で購入電力再エネ化 100%を達成し、約 18,445MWh の年間使用電力（2023 年実績）を全て再生可能エネルギーにすることで、年間約 8,678 トンの CO₂排出量削減を見込んでいます。

※調達した化石電源を主とする電気に、非化石証明の使用により環境価値を付加することで、実質的に CO₂ゼロエミッションを実現しています

カンロは今後も、事業活動を通じた人と社会の持続的な未来への貢献に注力し、2050 年には温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指してまいります。

<カンロ展開ブランド>



■「カンロ」会社概要

社名 : カンロ株式会社
代表 : 代表取締役社長 村田哲也
所在地 : 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号 東京オペラシティビル 37 階
創業 : 1912 年(大正元年)11 月 10 日
事業内容 : 菓子、食品の製造および販売
上場市場 : 東証スタンダード市場 (証券コード 2216)
U R L : コーポレートサイト <https://www.kanro.co.jp/>
Kanro POCkET <https://kanro.jp/>

当社は 1912 年の創業以来、社名になっている「カンロ飴」を始め、菓子食品業界で初ののど飴となる「健康のど飴」、ミルクフレーバーキャンディ市場売上 No.1 ブランド※1「金のミルク」、大人向けグミの先駆けでありグミの売上トップブランド※2 である「ピュレグミ」など、生活者の皆さまから愛される商品を創り続け、成長してまいりました。直営店「ヒトツブカンロ」では、「ヒトからヒトへ つながる ヒトツブ」をコンセプトにキャンディの魅力を発信しております。

昨今は、中期経営計画 2024 で目指す姿として掲げる「人と社会の持続可能な未来に貢献する パーパストリブン企業」の実現を目指し、戦略の中核に据えている「人財」への取り組みも強化しています。2023 年 3 月には健康経営への取り組みが評価され、経済産業省が推奨する「健康経営優良法人 2023」に認定されました。

※1 株式会社インテージ SRI+ ミルクフレーバーキャンディ市場 2022 年 4 月～2023 年 3 月累計販売金額ブランドランキング

※2 株式会社インテージ SRI+ グミ市場 2022 年 10 月～2023 年 9 月累計販売金額ブランドランキング

■パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」



カンロは、2022 年、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」を定めました。変化が激しく、先行きが不透明・不確実な時代の中、カンロがこれまで歩んできた道程を確認の上、自分たちの未来への想いを言語化したものです。糖から未来をつくり、糖の力を引き出す事に挑み続けてきたカンロが企業活動の中で培った技術をさらに進化させることで、「心がひとつぶ、大きくなる。」瞬間を積み重ねて人と社会の持続可能な未来に貢献してまいります。